

とよ・たち美肌通信

8月号 109vol.



ゆの♡かんあ

August

とよたち美肌通信 8月号の表紙は、

とっても大きなカキ氷がおいしそうな

暑い夏にピッタリな絵です ☀

アイスクリームもかわいらしいですよ!!

今回は仲良し姉妹が2人で描いてくださいました!

2人でピアノを弾いたり、アイスクリームが大好きで、食欲がなくても、アイスは

別腹だそう 😊

院長はじめスタッフ一同

心より感謝いたします。



4又は5才の頃、白い紙にマジックで黒丸を書き
虫メガネを使って紙を燃やした人は少なからず
いるはず。太陽光を一点に集中させて
固定していると、やがて焦げかすかな火垂を
上げにわかに紙が燃え出す。

これを行うのに必要な事はというと、焦点を
ブレさせずに一点に合わせる事。

単純な遊びであるが、これは人生の方向性
やあり方を示唆している様に思う。

焦点を定めないと人生は拡散し、
何も形づくられなのまま終ってしまうので
はなからうか。

焦点を定めて人生を貫いた偉人の一人として
私が知るのは伊能忠敬である。

1745年上総国に生を受け、17才の時地元の
商家である伊能家に婿入りし、名を
忠敬と改めた。

患敬は一男一女を儲け、家業に精を出し
商売も拡大させた。

時に患敬 49才の時、隠居し江戸に出て、
幕府天文方の高橋^{おとぎ}至時に弟子入りし、
天体観測の道に没頭した。

実はこれが患敬の本当にやりたかったことでは
ないと言われているが、56才の時に蝦夷地の
測量に赴くことになる。

患敬は72才までの17年間にわたり、北海道
から九州まで全行程 34913 kmを測量した。
その技法には更に驚くものがあり、最初の蝦夷
地では「歩測」の方法を採り、一步を69cm
と決め何十kmもそのペースで歩いたという。
正に驚嘆に堪えない。

しかしこの地図の完成をみることなく、73才で
患敬は他界してしまう。

続きは次月号で

院長、拝